

[通常機体] ケ G 「機動戦士ガンダム00」

ケルディムガンダム

```
, 機体名, ケルディムガンダム, 画像  
, 型式番号, GN-006, {ROWS:8}  
, 英語名, CHERUDIM GUNDAM  
, 所属, ソレスタルビーイング  
, パイロット, ロックオン・ストラトス  
, 装甲材質,  
, 装備, GN スナイパーライフル II {{br}}GN ビームピストル II {{br}}GN シールドビット {{br}} フォロスクリーン  
, ラストミッション仕様, ライフルビット×6  
, 作品名, 機動戦士ガンダム00  
, 参考書籍, 1/144HG ケルディムガンダム  
{include_html hg-html, "!ケルディムガンダム"}}
```

内容

遠距離からの射撃戦に特化したガンダム。

ガンダムデュナメスの発展機であり、基本性能が底上げされて、攻撃力と共に命中精度も高められている。

遠距離射撃を行うスナイプモードでは、コクピット内に射撃用のシステムが現れ、マイスターがコクピット内で「撃つ」という動作を行う操作システムも、デュナメスから引き継いでいる。

大きく変更された点は、防御及び格闘戦装備がある。

防御では、全身にマウントされた GN シールドビットが使用され、全方位に対する防御が可能となった。

また、格闘戦においては、デュナメスの運用データを解析した結果を踏まえ、格闘戦用武器が廃止され、かわりに近距離戦用の GN ビームピストル II に敵のビームサーベルを受けられる機能が追加された。

同時に GN スナイパーライフル II も折りたたみでの運用が可能となり、取り回しが便利になっている。

この状態の射撃は、三連バルカンモードとなり、近距離の多数の敵に有効な武器になっている。

備考

■ GN スナイパーライフル II

遠距離精密射撃用のライフル。

デュナメスが装備していたライフルの発展型であり、基本性能がアップしているだけでなく、中央部から銃身を二つ折りにすることで、三連バルカンモードとなり、中距離や近距離での戦闘に使用しやすくなっている。

■ GN ビームピストル II

背中に二丁マウントされたピストル。

小型火器であるため威力は低い、取り回しがしやすく連射も可能。

また、銃身の一部に耐ビームコーティングがほどこされており、敵にビームサーベルを受けることが出来る。

剣を装備しないケルディムは、このピストルで格闘戦を行う。

■ GN シールドビット

全身にマウントされた GN シールドビットは、個々が本体から離れ、独自に遠隔操作可能である。

これらは、シールドとして防御に使用されるだけでなく、ビームガンの内蔵しており攻撃にも使用される。

ケルディム独自の武装であり、その能力には、まだ秘められたモノがある。

■ フォロスクリーン

バックパックに収納されたフォロスクリーンは、トランザムでのシューティング時に頭部前面に展開される。

ここにシューティングに必要なあらゆる情報が、高速で計算処理され、マイスターに伝えられる。

正確なデータと高確率の事象予測により、驚異的な命中精度を発揮する。

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	18.0m
全長	
本体重量	58.9t
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	

● 勇樹 00 - (2009 年 03 月 27 日 16 時 31 分 40 秒)

アロウズ及びイノベーターの最終決戦において、リンダ達が開発した新型武装・GN ライフルビットを装備し出撃した。

GN ライフルビットは、GN シールドビットと同様、ハ口による操作で攻撃する武器である。右肩に 2 機、尻部に 4 機、計 6 機搭載されている。

なお、尻部に装備されていた 5 機の GN シールドビットは、左肩に取り付けられ、大型シールドの役目となっている。

(出典 機動戦士ガンダム 00 セカンドシーズン第 23 話「命の華」、第 24 話「BEYOND」より)